

(様式)

令和7年3月3日

狭山市教育委員会
教育長 滝嶋 正司 様

狭山市立柏原小学校
校長 長嶋 照代

令和6年度 狭山市立柏原小学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

- A：よくできている。(90%以上)
B：概ねできている。(85%以上)
C：あまりできていない。(70%以上)
D：できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から
			評価	説明	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	B	○教職員一丸となり、同一步調で児童の指導・支援にあたっている。自己肯定感をより高めるように、児童一人一人の良さを認める機会を幅広く設定し、工夫した。(教科・領域 係・当番活動 学校行事等) ○校舎の築年数が長く、老朽化も見られる部分はあるが、丁寧に使用し、適宜修繕しながら安全管理をしている。	○学校の重点目標が明確に、校長先生以下教職員の皆様が一丸となって教育活動に取り組む姿勢がうかがえる。 ○不登校生徒に対して、先進的な取り組みを熱心にされている。 ○広い学校内も地域の皆様の協力もあり、清掃もよく、危険除去に努めており、安全な校内であると思慮する。
	2	児童生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	B		
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	B		
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B		
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B		
学習	6	教師は、児童生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	○今年度「ユニバーサルデザイン」にもとづく授業づくり(算数科)」の学校研究発表会を行った。今後も児童が興味関心を持ち、わかりやすい授業を実施していくために日々研鑽を積んでいく。	○研修会等をとても熱心に行っている印象である。教師と児童がフレンドリーな教室の雰囲気がとてもよい。各先生も教え方に工夫が見られ、校長先生以下、教頭先生を中心に一丸となって生徒の学力向上に努めているように思える。
	7	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	B		
	8	児童生徒は、基礎的基本的な学力を身に付けている。	B		
	9	児童生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。	B		
	10	児童生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B		
規律ある態度	11	児童生徒は、進んであいさつをしている。	B	○学校生活や学習等のきまりが記載された「柏小ミニマム」をベースに、教職員が担任をしている児童だけでなく、全児童に対して同一步調で指導・支援することができた。	○子供達も元気で規律ある態度をとっている。挨拶もよくできている。教職員の努力がうかがえる。
	12	児童生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	B		
	13	児童生徒は、時間を守って生活している。	B		
	14	児童生徒は、きまりを守って生活している。	B		
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B		
健康・体力	16	学校は、児童生徒の体力を高めている。	B	○児童は、体育の授業はもちろんのこと、業前や業間、昼休みに大いに体を動かしている。また縦割り遊びや運動委員会が高学年が考えた全校遊びを行い、外遊びに意欲的に取り組めた。	○各々の学年で児童は体力向上に取り組む、教職員の皆様が健康に意識した生活を送れるよう、指導の跡が見られる。 ○外遊びをする姿が多くみられ、とても意欲的に取り組んでいると感じる。
	17	児童生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B		
	18	児童生徒は、健康を意識した生活をしている。	B		
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	B	○「スクリレ」を導入しホームページとともに有効に活用し、学校だより等で児童の活躍の様子を伝えた。また毎月発行する学年だよりには「めざす児童像」を必ず記載し、どんな児童に育ってほしいかが保護者・地域の方に分かるようにした。	○校長先生以下一丸となり、PTA、地域の協力者の皆様と情報交換を行い、緊急時の対応も学校と保護者・地域が協力体制を敷くように努めている。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B		